

フィリップス社製 IGT 据置型装置の洗浄と消毒について

※装置の洗浄および消毒を行う前に、安全と操作性を確保するため、該当装置の取扱説明書（Instruction For Use）の洗浄と消毒についての記載項を慎重にお読みください。

洗浄手順

1. **エナメル、ステンレススチール、アルミニウム表面**：湿らせた布と中性洗剤で拭き、乾いた毛織布で乾かしてください。研磨剤を含んだ洗剤や腐食性の薬剤や溶剤、研磨剤はご使用にならないでください。洗剤の性質が不明な場合には、ご使用にならないでください。
2. **クロームメッキされた部品**：乾いた毛織布での拭きあげのみ行ってください。研磨剤はご使用にならないでください。必要に応じ、つや出しのために研磨剤を含まないワックスをご使用ください。
3. **患者用バックル**：患者用バックルは洗浄および滅菌可能です。必要に応じ、患者用バックルを洗浄し綺麗にするための取扱説明書に記載の内容に従ってください。患者用バックルは標準的な殺菌剤や希釈剤を使用する従来の洗浄方法で洗浄できます。バックルストラップは148.9°Cまでの温度に耐えることが出来ます。一般的な手術の後に洗濯機で洗うことができます。滅菌が必要な場合には、高圧蒸気滅菌器を使用可能です。

消毒手順

※装置および検査室の洗浄および消毒方法については、適用される地域の法律または規制に準拠する必要があります。

1. 感電を避ける為、**事前に機器（モニターサスペンションを含む）を電源から抜いてください。**
2. アクセサリや接続ケーブルを含む機器の全ての部品は、**消毒剤を含ませた布で拭いて消毒できます。**腐食性または溶剤ベースの消毒剤はご使用にならないでください。また、消毒剤の性質が不明な場合は、ご使用にならないでください。
3. **可燃性または爆発性のスプレーをご使用にならないでください。**発生した蒸気が爆発し、怪我や機器の損傷を引き起こす可能性があります。
4. **可燃性または爆発しやすい消毒剤スプレーは絶対にご使用にならないでください。**蒸気は火災や致命的な怪我、その他の重大な人身傷害や機器の損傷を引き起こす可能性があります。医療機器が設置された部屋にスプレー消毒することはお勧めしません。蒸気が機器内に入り短絡故障や腐食を引き起こす可能性があります。
5. 不燃性または非爆発性のスプレー消毒剤を使用する場合は、最初に**装置の電源を切り、装置が冷めるのを待ちます。**これにより、空気の対流が消毒剤のエアロゾルを装置に引き込む

PHILIPS

ことを効果的に防止できます。部屋を消毒剤スプレーで消毒する前に、装置をプラスチック（ビニール）カバーで完全に覆う必要があります。消毒剤の蒸気が完全に無くなるまで、プラスチック（ビニール）カバーは取り外さないでください。次に取扱説明書で推奨されている方法に従って装置を消毒します。スプレーを使用した場合には、操作者は装置を起動し、操作する前に、消毒剤の蒸気が完全に消散していることを確認する必要があります。